

平成27年3月期決算状況 および 第15次中期経営計画 説明資料

思いやり、支えあい、助けあい。



おかげさまで、創業100周年

平成27年7月13日
株式会社 愛媛銀行

第Ⅰ部

平成26年度決算状況について

決算概要(単体)

資金利益の増加を主因に、コア業務純益は6期ぶりの100億円台乗せと3期連続の増益達成。
 当期純利益、経常利益は、信用コストの減少等により、いずれも過去最高益を更新。

(百万円)

		26/3期	27/3期	前年比
コア業務粗利益	資金利益	28,155	29,759	+ 1,604
	役務取引等利益	628	32	661
	うち預り資産販売関連手数料	1,658	1,914	+ 256
	コア業務粗利益 (除く国債等債券損益)	28,957	29,879	+ 922
	経費	19,743	19,714	29
コア業務純益		9,214	10,165	+ 951
業務純益	債券関係損益	2,684	1,113	1,571
	一般貸倒引当金繰入	307	45	262
業務純益		11,591	11,233	358
経常利益	うち 株式関係損益	449	445	4
	うち 不良債権処理額	2,514	2,140	374
経常利益		9,459	9,576	+ 117
当期純利益		4,335	5,265	+ 930
信用コスト(+)		2,822	2,186	636

コア業務純益

資金利益は、大宗を占める貸出金利息において、利回の低下を、中小企業向け貸出および高金利の消費者ローン等の残高増加要因により前年比プラスを確保した。

加えて、外債運用等の拡大による有価証券利息の増加と他社が販売したカードローンを買入金銭債権として購入したこと等により、資金利益は2期連続増加した。

役務取引等利益は、消費者ローンの増加に伴う支払保証料の増加により減少したが、預り資産販売関連手数料は拡大した。

経費は、消費税率上昇要因を人件費、物件費抑制でカバーした。

経常利益・純利益

債券、株式関係は機動的な売買に努め運用益を確保した。

信用コストは、前年に比べ、大口先の貸出金償却が減少したことから、不良債権処理額が減少した。

コア業務純益の増加、信用コストの減少により経常利益、当期純利益ともに2期連続の増益となった。

コア業務粗利益の内訳と増減要因

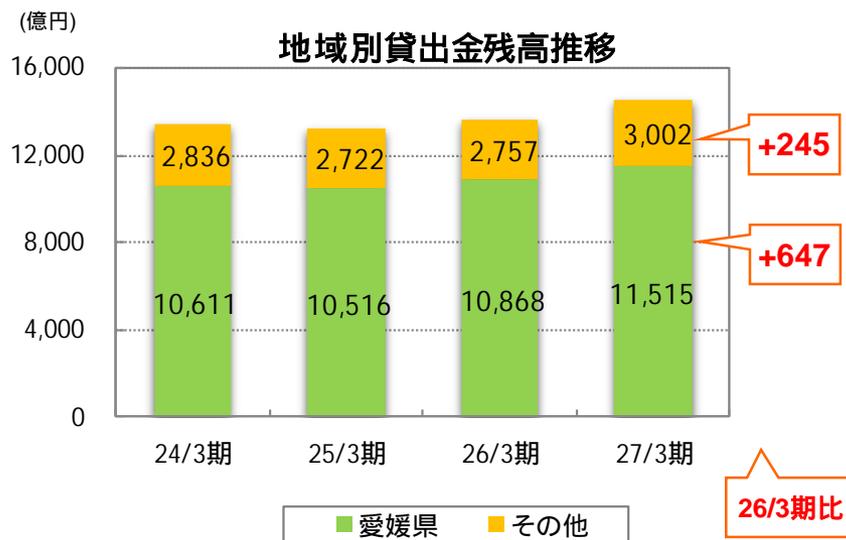
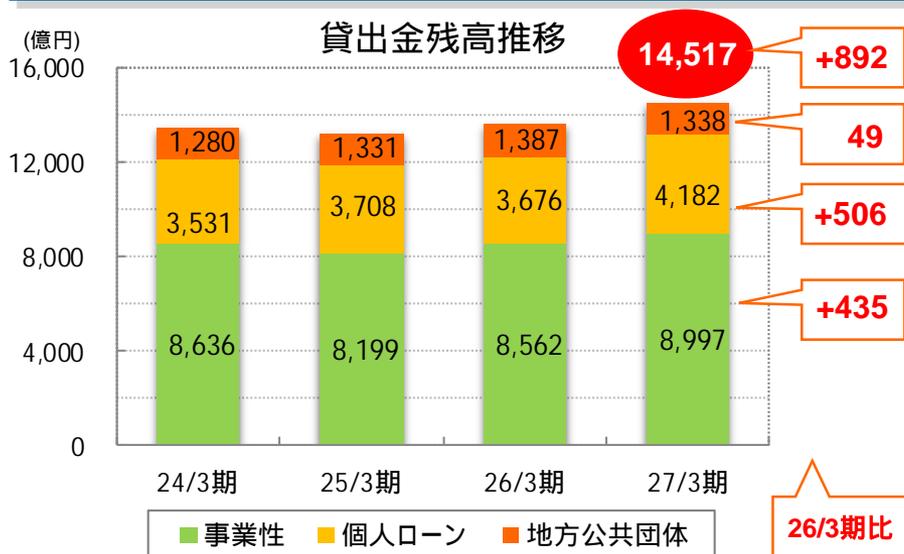
資金利益は、貸出金ボリュームの増加、並びに有価証券、その他運用と資金調達費用の減少で増加。
 預り資産関係手数料は伸長するも、個人ローン関係の役務費用の増加で役務等利益は減少。

(対26年3月期比 単位:億円)

コア業務粗利益	資金利益	資金運用収益	貸出金利息	平残646億円増加 貸出金利回り0.08%低下
	298(+9)	324(+14)	261(+1)	
合計額(前年比)	資金利益	資金調達費用	貸出金利息(約定ベース)内訳(概算)	
	297(+16)	27(-1)	事業性等貸出 147(-6) (平残+446億円、約定利回り 0.13%) 住宅ローン 62(+2) (平残+164億円、約定利回り 0.04%) 消費者ローン 52(+5) (平残 +40億円、約定利回り +0.20%)	
	役務取引等利益	役務収益	有価証券利息	平残875億円増加 有価証券利回り 0.035%上昇
	0(-6)	43(+1)	39(+8)	
		役務費用	その他	買入金銭債権による運用 (他社カードローンの購入) 平残 534億円 利回 3.78%
		44(+7)	23(+5)	
	その他			
	1(0)			

貸出金の状況

貸出金残高は、対前年同期比で892億円の増加。中小企業向けおよび海運業向け貸出に注力し、事業性貸出が同比435億円増加した。個人ローンは、他社が販売した住宅ローンを受益権として購入したほか、カードローン主体に消費者ローン増強に注力した結果、同比506億円増加した。



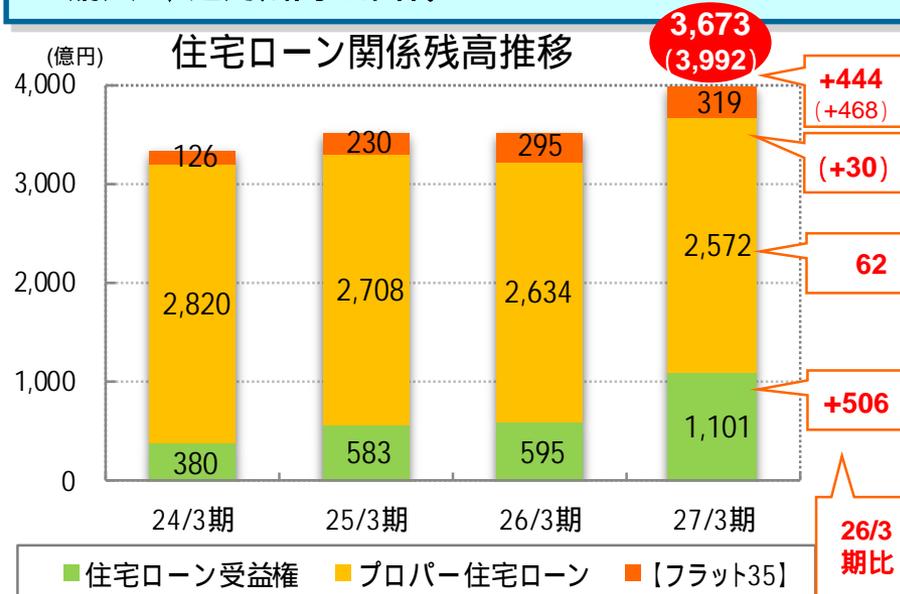
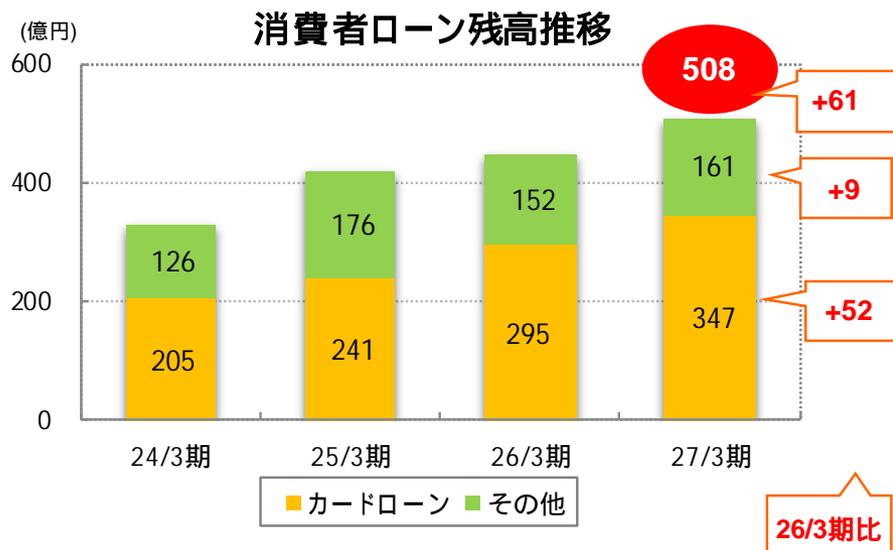
【貸出金残高推移】

	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	26/3期比	24/3期比
貸出金	13,447	13,238	13,625	14,517	+892	+1,070
事業性貸出	8,636	8,199	8,562	8,997	+435	+361
うち中小企業向け	6,038	5,676	5,910	6,384	+474	+346
地方公共団体	1,280	1,331	1,387	1,338	49	+58
個人ローン	3,531	3,708	3,676	4,182	+506	+651
うち消費者ローン	331	417	447	508	+61	+177

個人ローンの状況

消費者ローンは、高金利のカードローン主体に残高を増強。消費者ローンの平均約定利回りは約11%。

住宅ローンは、超長期固定金利ニーズをフラット35へ誘導。他社が販売した住宅ローンを受益権形式で購入し、運用残高を確保。



【消費者ローン残高推移】

	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	26/3期比	24/3期比
カードローン	204	241	295	347	52	+143
その他	127	176	152	161	9	+34
消費者ローン残高	331	417	447	508	61	+177

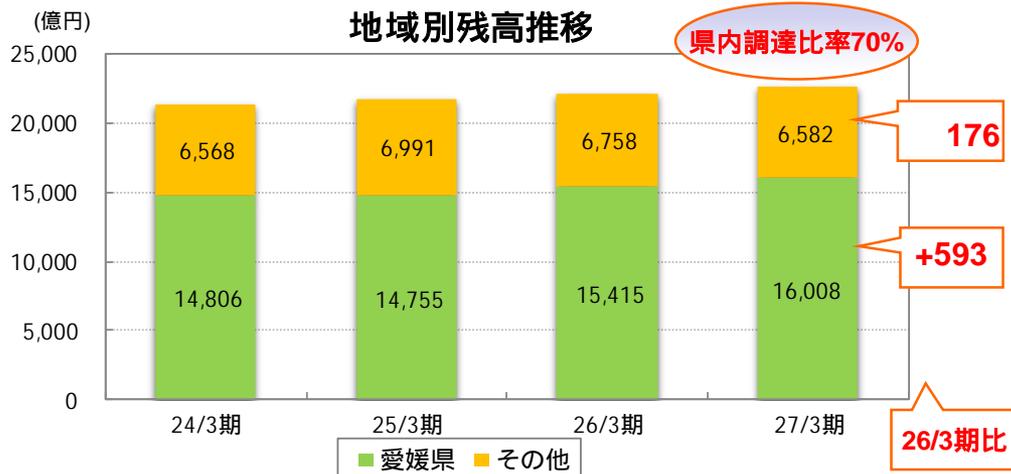
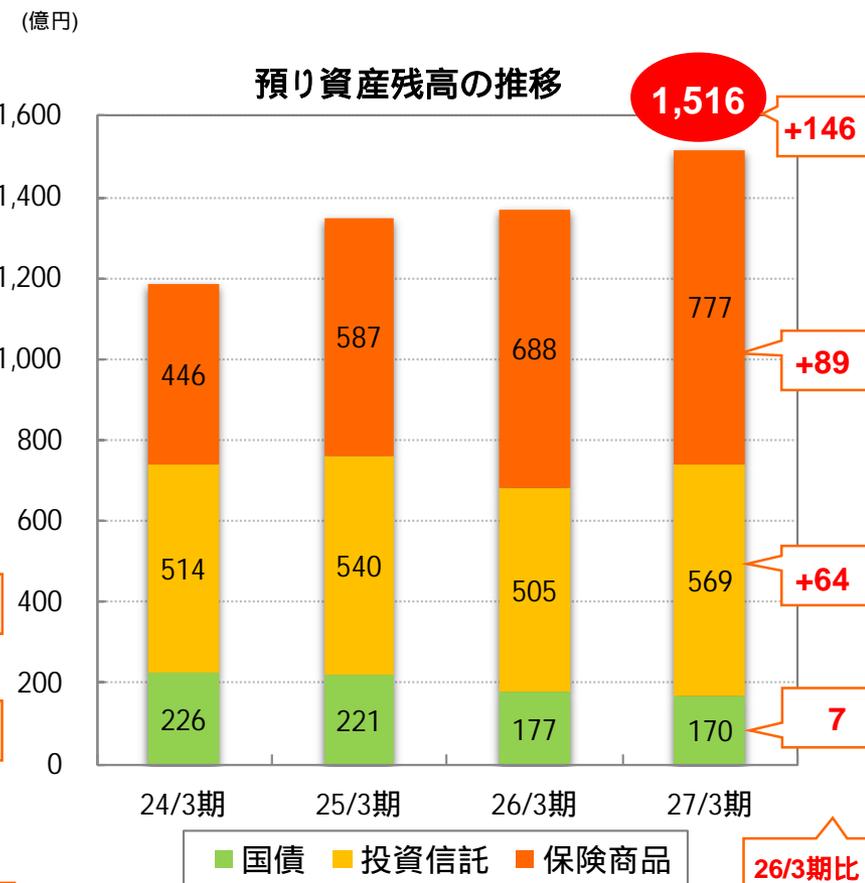
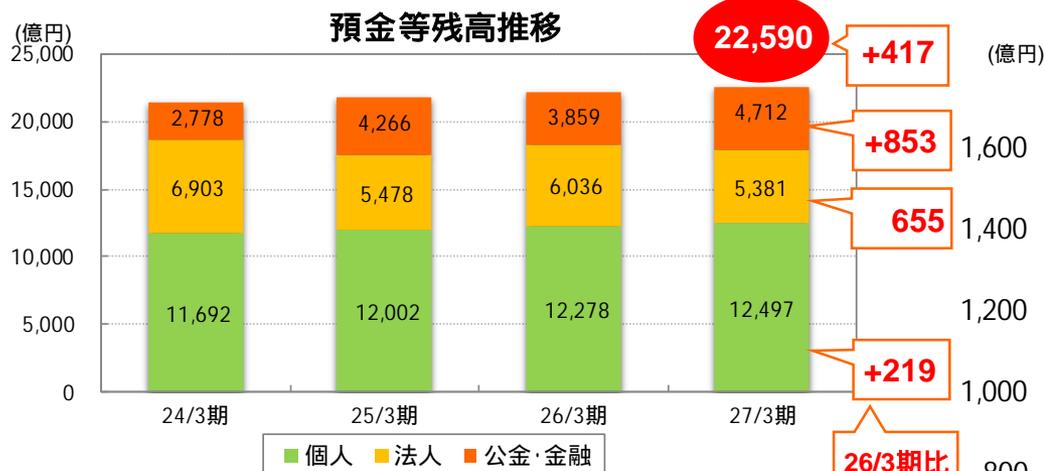
【住宅ローン関係残高推移】

	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	26/3期比	24/3期比
プロパー住宅ローン	2,820	2,708	2,634	2,572	62	248
住宅ローン受益権	380	583	595	1,101	+506	+721
住宅ローン残高	3,200	3,291	3,229	3,673	+444	+473
【フラット35】取扱残高	(126)	(230)	(295)	(319)	(+24)	(+193)

預金等・預り資産の状況

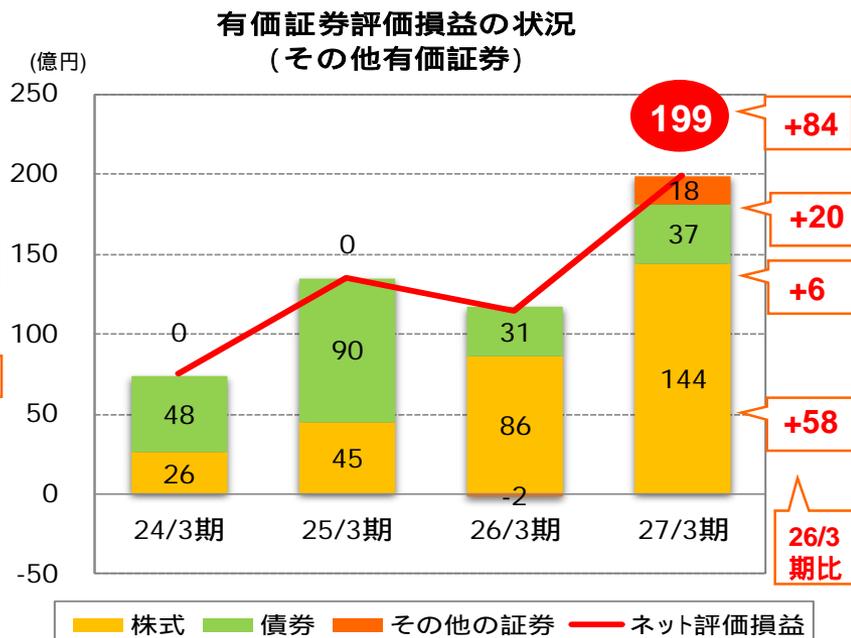
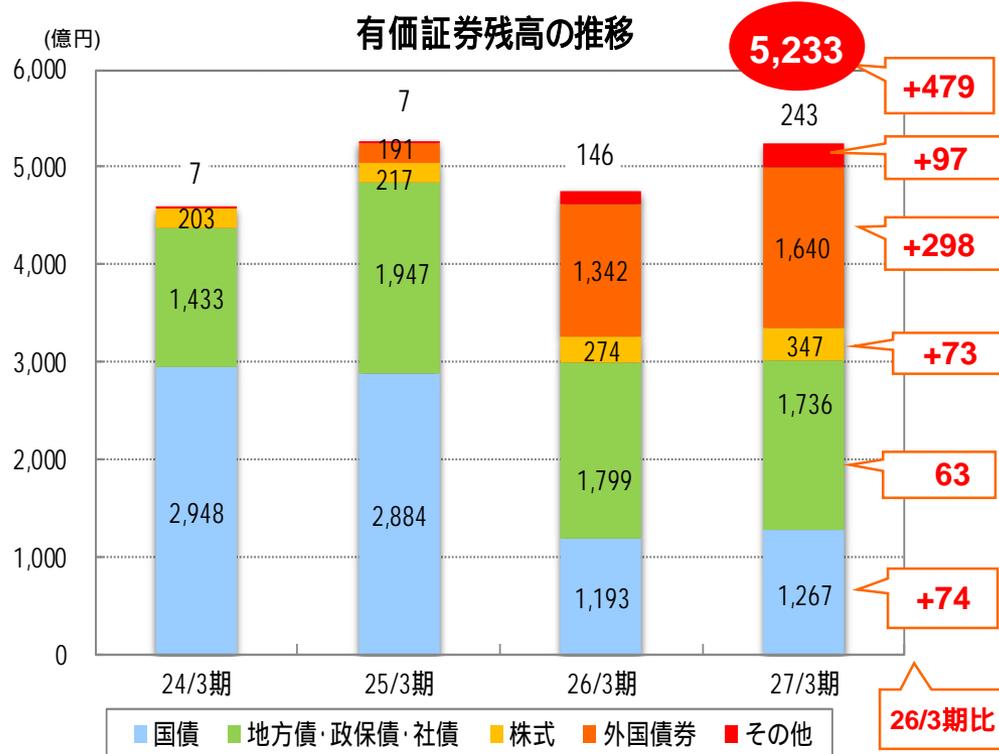
預金等(預金・NCD)は、対前年同期比417億円の増加。法人は減少したものの、個人、公金・金融は増加。県内調達比率も安定。

預り資産は投資信託、保険商品の販売強化で、対前年同期比で146億円の増加。



有価証券運用の状況

市場金利の低下により、国債主体のポートフォリオから外国債券へのシフト等、運用の多様化を志向。
 外国債券は、ソブリン等政府機関、内外金融機関、高格付社債等が主体。
 債券のデュレーションは抑制しつつ、有価証券の評価損益は199億円に拡大。



	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	26/3期比
デュレーション	4.1年	5.0年	3.6年	3.5年	0.1年

外国債券の通貨別内訳

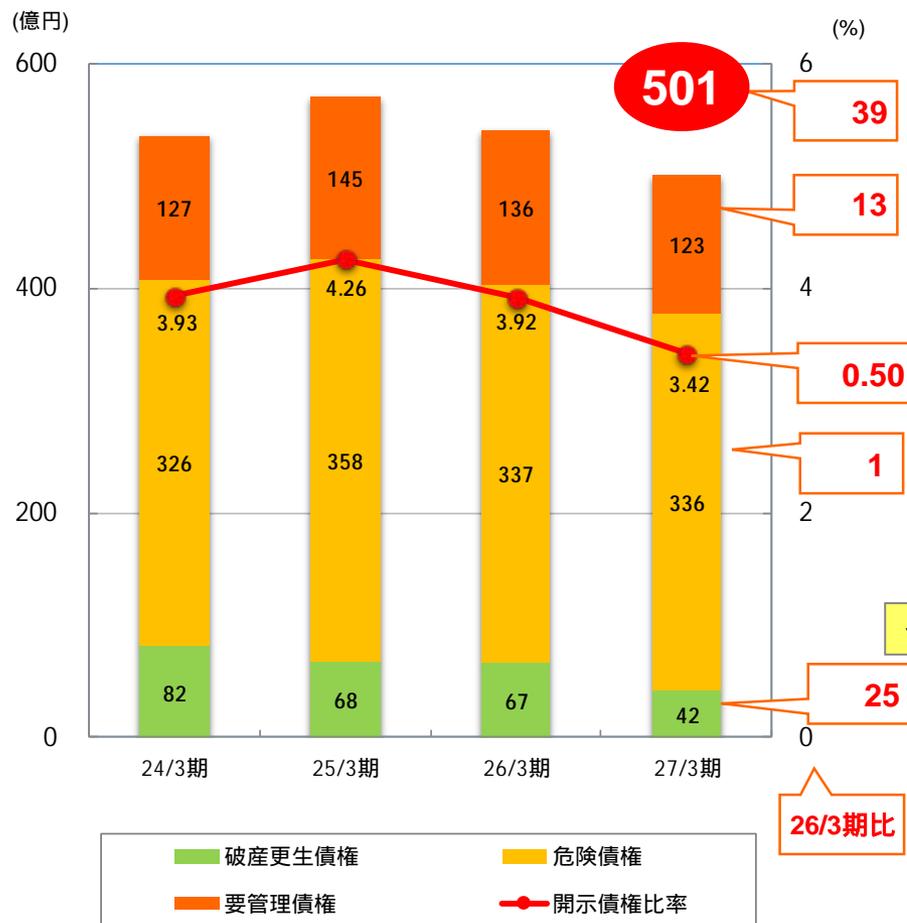
	26/3期	27/3期	26/3期比
JPY ¥	974	833	141
US \$	368	777	+ 409
EUR €	-	30	+ 30

為替リスクは取っていない。(外貨運用・外貨調達)

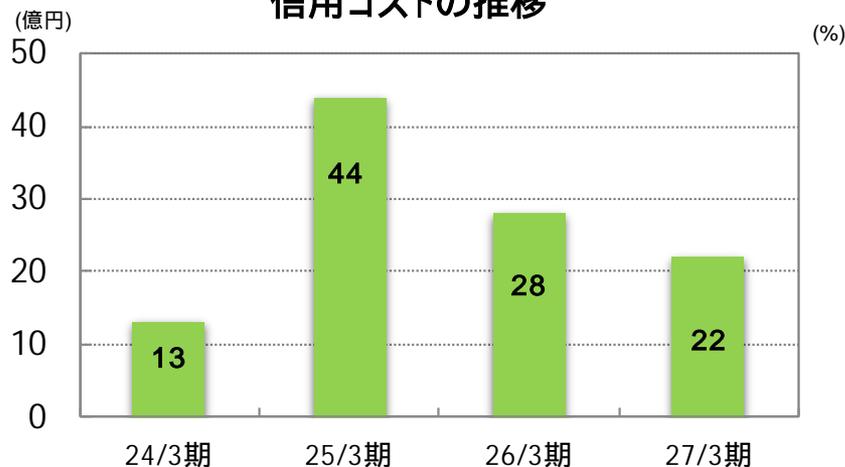
開示債権 / 信用コストの状況

信用リスク管理の強化とともに企業再生に積極的取り組み、開示債権残高、比率ともに低下。
信用コストも安定推移。

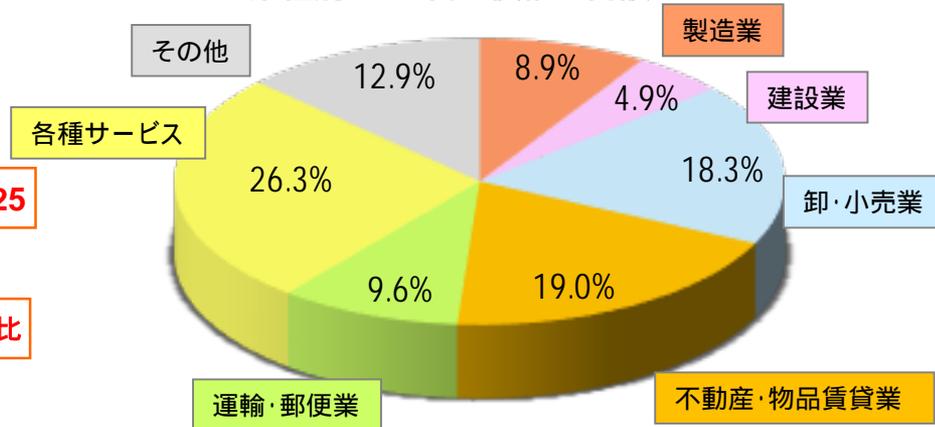
開示債権の推移



信用コストの推移



業種別リスク管理債権の内訳



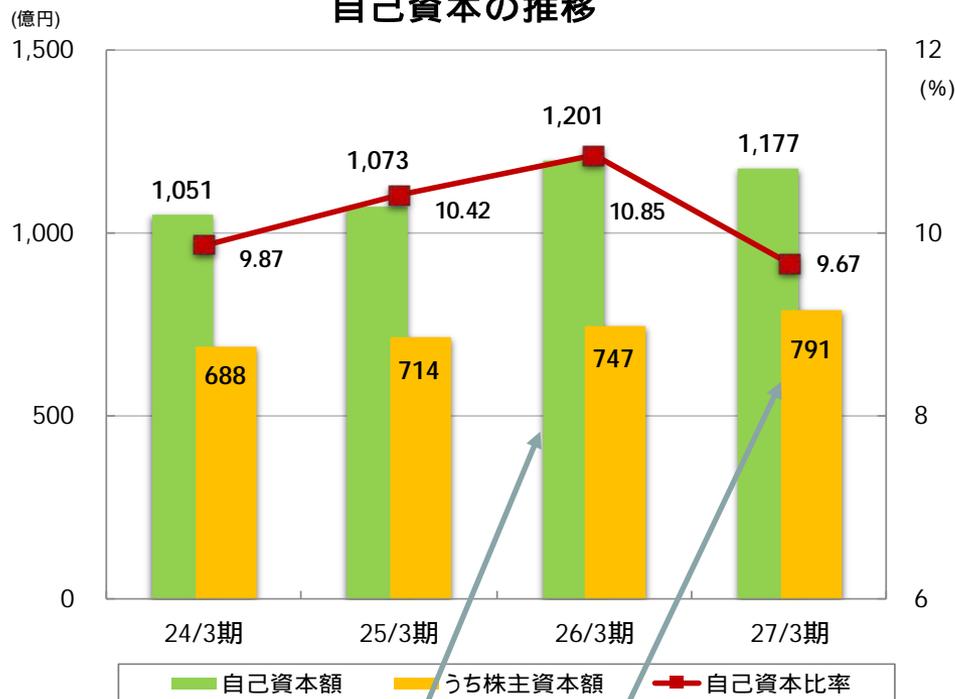
自己資本比率の状況(単体)

自己資本額の減少は既発劣後債の償還によるもので、株主資本額は順調に増加。

自己資本比率は、資産運用強化によりリスクアセットが拡大したため、低下。

適切なリスク管理による業容拡大により、内部留保の蓄積スピードを上げ、資本の質を改善していく。

自己資本の推移

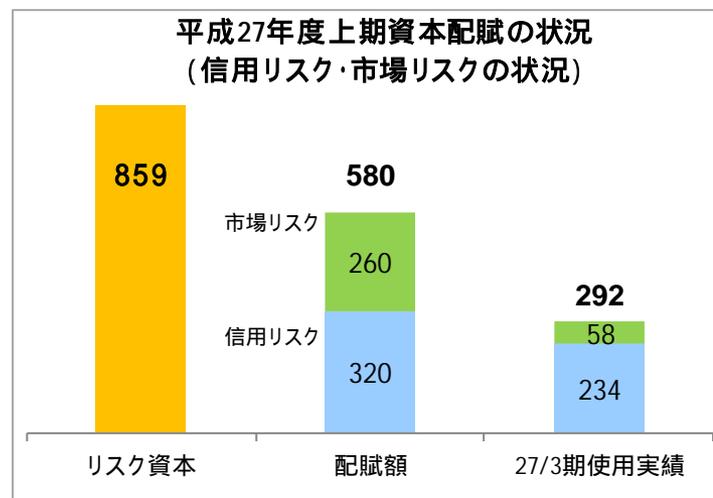


劣後CB 80億円発行

バーゼル 適用

劣後債 60億円償還

平成27年度上期資本配賦の状況 (信用リスク・市場リスクの状況)



(注1) リスク資本は、バーゼルにおける経過措置を考慮せず完全適用したと仮定した場合のコア資本としている。

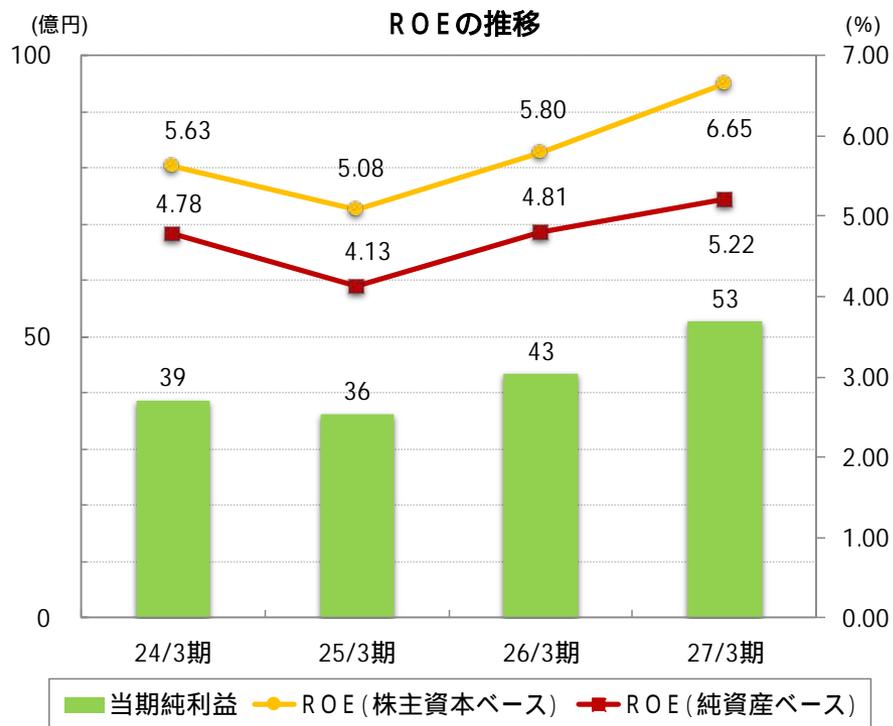
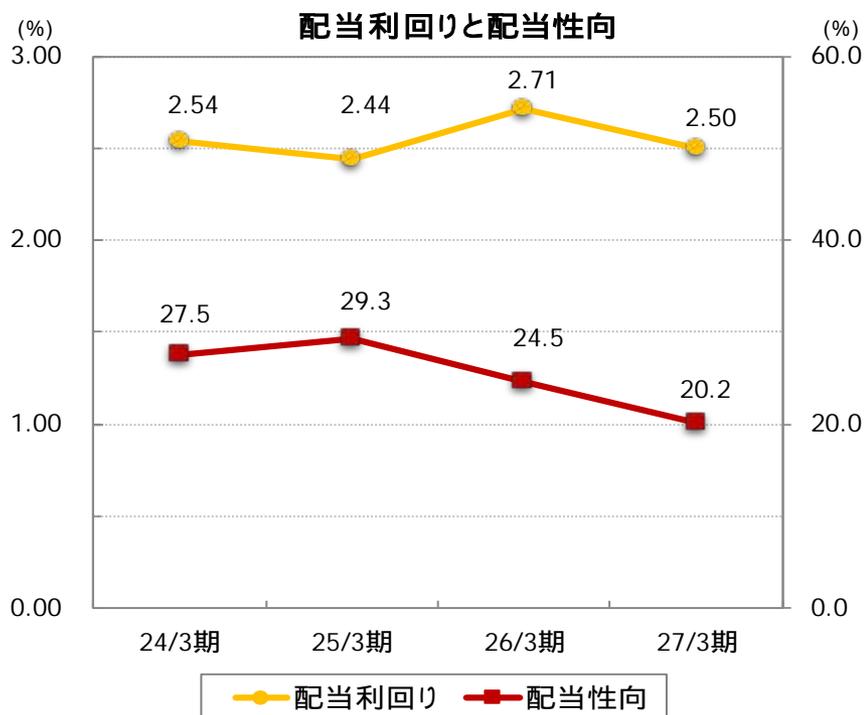
(注2) 配賦額は、リスク資本から、オペリスク相当額、および未計測リスク、万一の備えとしてのバッファー資本を留め置いた後、信用リスクと市場リスクに配賦している。

(注3) 信用リスクと市場リスクは、毎月計測し、配賦額内に収まっているかモニタリングしている。

配当政策とROEの状況

毎期6円の安定配当を実施、配当利回りも高水準。
平成27年度中間期は、9月に創業100周年を迎える
ことから、2円の記念配当を予定。

ROE(株主資本ベース)は5%台を維持。
27/3期は当期純利益の拡大を受けて6%台半ばに
上昇。



	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	28/3期予定
配当金	6円	6円	6円	6円	8円(中間5円)

第Ⅱ部
第15次中期経営計画について

第15次中期経営計画の全体像

第15次中期経営計画

<平成27年4月～平成30年3月>

経営理念

ふるさとの発展
に役立つ銀行

たくましく
発展する銀行

働きがいのある
銀行

愛媛銀行ブランドの確立

最初に相談される銀行

創業100年、 “殻を破る”未来への挑戦



第14次中期経営計画の総括

前中計の主要計数項目は、意欲的な目標設定。積極果敢に挑戦したが、目標には届かず。預貸金のボリュームと質、および取引基盤は大きく伸長。課題克服に向け、さらなる挑戦へ。

主要計数項目	27年3月期			
	目標	実績	かい離	
収益性	コア業務粗利益	325億円	298億円	27億円
	コア業務純益	130億円	101億円	29億円
	当期純利益	70億円	52億円	18億円
健全性・安定性	Tier1比率 (自己資本比率)	8%以上 (11%以上)	- % (9.67%)	バーゼル 移行 (1.33%)
	不良債権比率 (開示債権比率)	2%台	3.42%	1.42%
	OHR (業務粗利益経費率)	60%以下	65.97%	+ 5.97%

成果と課題	27年3月期		
	実績	期中増減	
成果	総預金平残	20,591億円	+ 2,497億円
	個人預金平残	12,386億円	+ 1,094億円
	流動性預金平残	6,639億円	+ 1,297億円
	貸出金平残	13,922億円	+ 716億円
	事業性貸出先数	10,191先	+ 695先
	個人取引世帯数	704,974先	+ 12,493先
課題	貸出金利回り	1.88%	0.18%
	預金県内シェア	20.2%	0.4%
	貸出金県内シェア	19.3%	0.3%

県内シェアは、愛媛県に本店を有する銀行、信用金庫に占める当行シェア

第15次中期経営計画の計数目標

主要計数目標は実現可能性を考慮した必達目標。さらなる高みを目指します。
積極的な資金供給、役務収益の増強と効率経営の追求によりコア業務純益(トップライン)を拡大させます。

中期経営計画 主要計数項目		前中計	第15次中期経営 計画
		計画スタート 27年3月期	最終年度目標 30年3月期
収益性	当期純利益	52億円	63億円以上
	コア業務純益	101億円	100億円以上
	ROE (当期純利益 ÷ 株主資本)	6.8%	5.5%以上
健全性	自己資本比率	9.67%	9%以上
	不良債権比率 (開示債権比率)	3.42%	2%台
安定性	総預金残高	22,590億円	23,000億円以上
	貸出金残高	14,517億円	15,000億円以上



基本方針に基づく主要施策

お客様との関係を一層強固にし、取引基盤を拡充し、トップラインを引き上げます。
リスク管理と効率経営でコストを抑え、最終利益目標の達成を目指します。

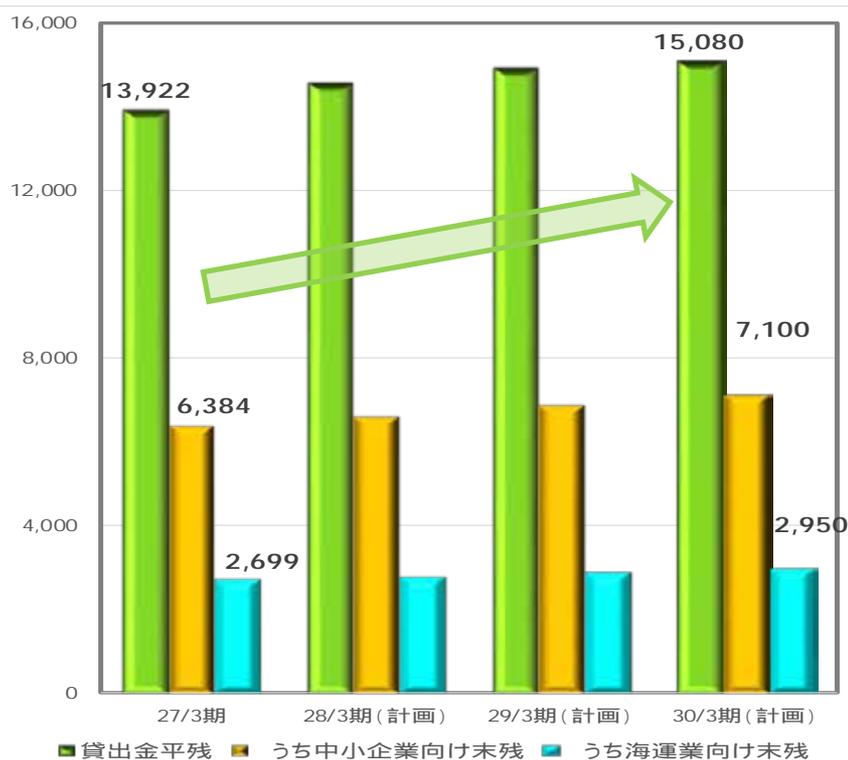
・お客様サービスの向上	・リスク管理態勢の充実	・効率経営の追及
主要施策		
1．お客様対応の質的向上	1．良質な貸出資産の増加	1．モバイル業務改革の推進
2．専門分野のコンサル力向上	2．市場リスクへの対応強化	2．営業店事務の本部集中化促進
3．高齢者の方への対応充実	3．流動性リスクへの対応充実	3．融資・預金吸収店舗のグループ化
4．事業者への提案型営業の推進	4．オペリスク管理・コンプライアンス強化	4．手数料ビジネスの拡大
5．若年層向けチャネルの充実	5．自己資本管理の充実	5．TQC活動による生産性向上
6．富裕層向けコンサル機能の発揮		
7．地方創生につながる活動促進		

法人戦略

地域経済活性化への貢献のため、中小企業向け貸出についても目標を定め、積極的に推進していきます。地域特性を踏まえた効率的な営業展開を実践し、地場産業、成長分野主体に積極支援いたします。

貸出金計画

(億円)



営業方針

- | 優良既存先の深耕と優良先新規開拓の併進
- | 取引先のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮
(行内の専門家チームと外部機関との連携強化)
- | 営業統括部内に地方創生チームを設置。
産・官・学・金・労の一翼として積極的な情報提供と資金面のサポート。
- | 事業性評価力の向上に向け、若手涉外行員の育成強化。
(行内名称:レッドアタッカーズ)

注力分野

海運・造船

製造業

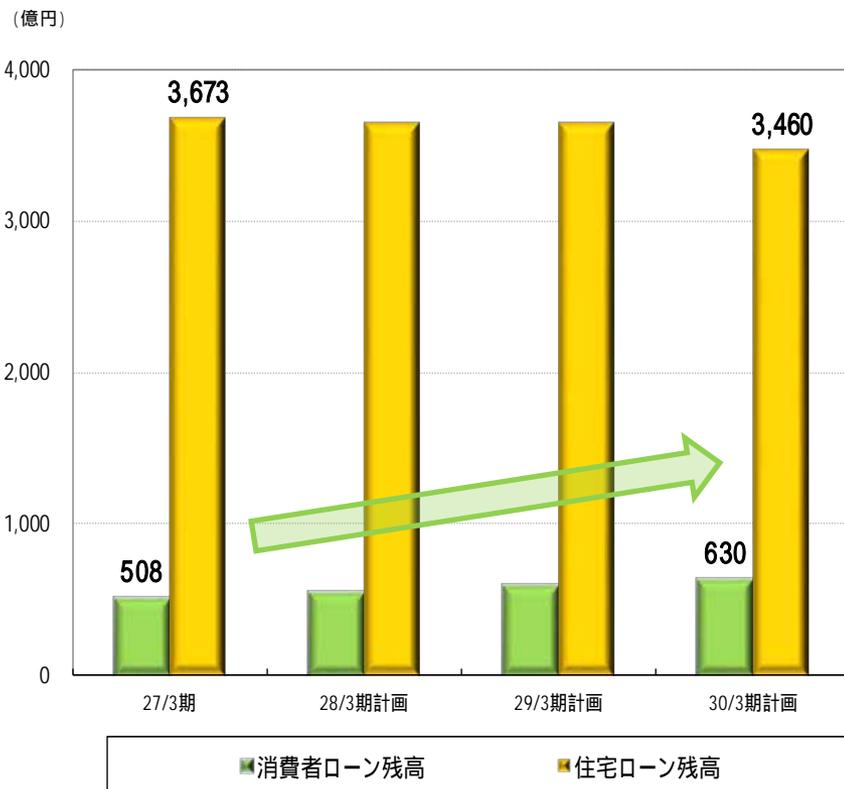
医療・介護

6次産業化

個人戦略(個人ローン、預かり資産販売)

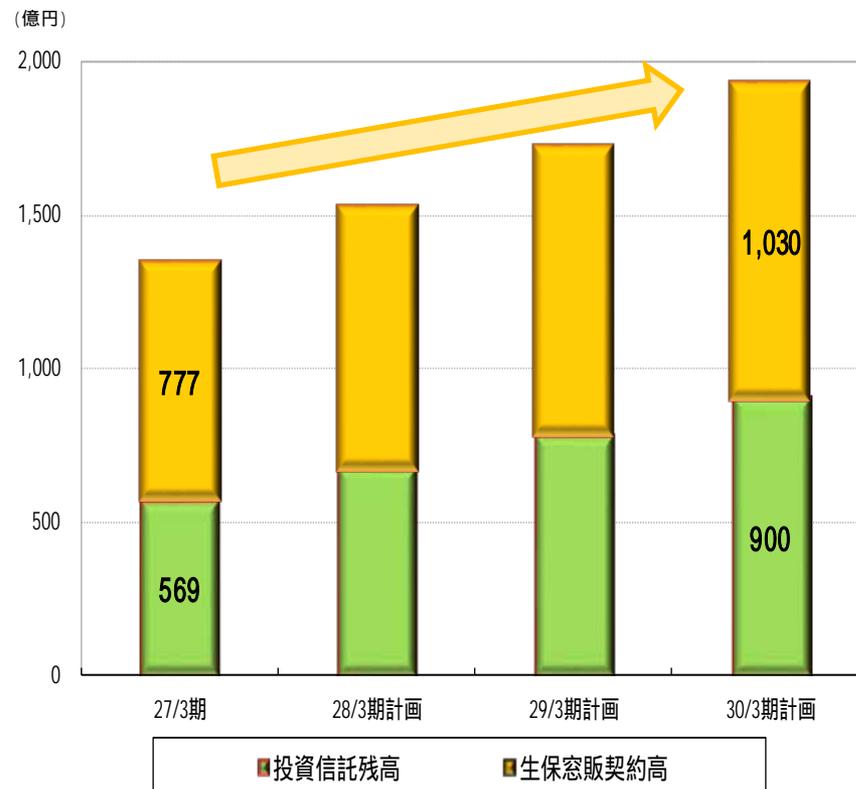
個人ローン残高計画

カードローン主体に消費者ローンの残高を増強していきます。住宅ローンは、現状の金利水準が継続される間は、フラット35主体に取り組みます。



預り資産販売計画

お客様のライフプランとニーズを踏まえて、お客様本位の商品提案とアフターフォローの充実により、顧客層の拡大を図っていきます。



本資料は、決算の概要や経営方針等のご案内を目的としたもので、当行が発行する有価証券の投資勧誘あるいは取引の推奨を目的とするものではありません。

将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによって異なる可能性があることにご留意ください。

【お問い合わせ先】

愛媛銀行 企画広報部

TEL 089-933-1111 FAX 089-933-1027

ホームページアドレス：<http://www.himegin.co.jp/>